

第 1954 圖

に
れ
科



えのき
古名 え
Celtis sinensis Pers.
var. *japonica Nakai.*
(= *C. japonica Planch.*)

山林中ニ生ズレドモ又行道側等ニ栽植シアル落葉喬木ニシテ其大ナル者ハ高サ20m餘、徑1mニ及ブ。幹ハ灰色ヲ呈シ直立シテ多ク分枝シ、一年生ノ枝ニハ細毛ヲ密生ス。葉ハ互生シ有柄、廣卵形乃至橢圓形ニシテ左右不等、先端ハ短銳尖頭、底部ハ廣楔形ヲ成シ不齊、上部邊緣ニ小鋸齒ヲ有シ、粗糙ニシテ三主脈アリ。春日、淡黃色ノ細花ヲ開キ雄花ハ新枝ノ下部ニ聚繖花序ヲ成シ、雌性花ハ新枝ノ上部葉腋ニ一乃至三箇ヲ着ケ共ニ四萼片アリテ短小梗ヲ具フ。雄花ハ四雄蕊アリ。雌性花ハ小形ノ四雄蕊、一雌蕊ヲ有シ、花柱ハ二裂シ外反ス。核果ハ小ニシテ球形ヲ呈シ徑7mm許、橙色ニ成熟シ小兒採リ食フ、核ノ表面ニハ網狀ノ皺紋アリ。一異品ニシテえのき (*forma pendula Makino*) = *C. sinensis var. pendula Miyos.*) アリテ枝條垂下ス。和名 其意不明ナリ。漢名 朴樹 (慣用)、從來本種ニ對シテ用ウル樸ニ蓋シ和字ニ此樹夏時ノ樹陰ヲ貴ブ故ニ木ニ夏ヲ配セシナラン、漢字ニ樸アレドモ別物ナリト斷ス。

第 1955 圖

に
れ
科



えぞえのき
Celtis Bungeana Blume
var. *jessoensis Kudo.*
(= *C. jessoensis Koidz. p. p.*)

山地ニ生ズル落葉喬木。高サ15-20mニ達ス。葉ハ有柄互生、卵形又ハ卵狀橢圓形、長サ5-10cm、有尾銳尖頭、廣楔底或ハ圓形底ニシテ少シク歪形、邊緣ニハ銳鋸齒アリ、唯下部三分ノ一ハ之レヲ缺ク。表面ハ深綠色ニシテ少シク光澤ヲ有シ三行脈。花ハ五月新枝ノ葉腋ニ開キ長柄アレドモ甚ダ顯著ナラズ。雄花及雌性花ヲ有シ、萼ハ四片ニシテ平開ス。雄花ハ四雄蕊ニシテ萼片ト對生ス。雌性花ハ小ナル四雄蕊アリ、子房ハ綠色ニシテ橢圓形、柱頭ハ寧ロ長キ二耳ニ分枝シテ開出ス。果實ハ核果、長柄アリテ少シク下垂シ、徑7-8mmアリテ秋時黒熟ス。本種えのきニ似タリト雖モ、葉ノ鋸齒多ク且ツ鋭ク、果實ハ黒熟スルヲ以テ截然相別ツベシ。材ハ諸用ニ供シ得。

第 1956 圖

に
れ
科



けやき
Zelkova serrata Makino.
(= *Corchorus serratus Thunb.*; *Abelicea serrata Makino*; *Z. acuminata Planch.*; *Planera acuminata Lindl.*; *P. japonica Miq.*; *Ulmus Keaki Sieb.*; *Z. Keaki Maxim.*)

山地ニ生ジ、或ハ人家ノ周圍ニ栽植シアル落葉喬木ニシテ幹ハ直聳シ大ナル者ハ高サ30m、徑2m餘ニ及ブ、多ク分枝ヲ分チ新枝ニハ細毛ヲ布ク。葉ハ柄アリテ互生シ、卵形乃至卵狀披針形ニシテ銳尖頭、底部圓形又ハ稍心臟形ヲ成シ往々左右不齊、邊緣ニ鋸齒アリ、長サ2-10cm許、葉脈ハ羽狀ニシテ八乃至十對アリ。春日、新葉ト同時ニ淡黃綠色ノ細花ヲ開ク。雌雄同株。雄花ハ數箇宛新枝ノ下部ニ集合シ、萼ハ四乃至六深裂シ、四乃至六雄蕊アリ。雌花ハ新枝ノ上部ノ葉腋ニ單生シ退化セル雄蕊アリテ花柱ハ二裂ス。果實ハ不齊ナル扁球形ニシテ堅ク、徑4mm許、背面ニ稜角アリ。材ヲ實用スルハ周知ノ事ナリ。一種 ツき (*var. Tsuki Makino*) アリ其材質下品ナリ俗字トシテ機ヲ用ウ、元來ハツキハけやきノ古名ナラン。和名ハ蓋シけやきノ木ニシテ顯著ナル樹ノ意ナラン、此けやきヲ木理ノ意ニ採ルハ贊成セズ。漢名 樺 (誤用)、樺ハくるみ科ナル *Pterocarya stenoptera DC.* ノ漢名ナリ。

むくのき

一名 むくもく・むくえのき
Aphananthe aspera Planch.
(= *Prunus aspera Thunb.*)

山地ニ生ズレドモ又往々人家附近竝ニ行道側ニ栽植シアル落葉喬木ニシテ大ナル者ハ高サ20m 徑1m許ニ達シ、多ク分枝シ新枝ニハ粗毛アリ。葉ハ有柄ニシテ互生シ、卵形乃至卵狀披針形ニシテ先端銳尖頭、底部ハ廣楔形ニシテ稍不齊、邊緣ニ銳鋸齒アリ、葉面著シク糙澁シ、葉脈ハ基部略ボ三脈ト成リ、中脈ノ支脈ハ羽狀ニ出デ七乃至八對アリ。春日、淡綠色細花ヲ嫩葉ト共ニ開ク。雌雄同株。雄花ハ新枝ノ基部ニ聚繖花序ヲ成シテ着キ、五萼片、五雄蕊アリ。雌花ハ新枝ノ上方葉腋ニ一二箇着生シ、萼ハ五裂シ、花柱ハ二分ス。核果ハ卵狀球形ニシテ徑12mm許、黒熟シテ肉味甘ク、兒童採リ食フ。從來其葉ハ物ヲ磨クニ用キラル。和名むくの意從來正解ナシ、按ズルニ是レ或ハ割クノ意乎、即チ其糙澁葉ヲ以テ物ヲ磨キ割クヨリ謂ヒシナラン乎、或ハ茂(もく)クニテ茂リ榮ユル樹ノ意乎。漢名 樺樹・糙葉樹・加條 (慣用)、棕 (誤用)。

第 1957 圖

に
れ
科



はるにれ 古名 やにれ
Ulmus Davidiana Planch.
var. *japonica Nakai.*
(= *U. japonica Sarg.*; *U. campestris Sm. var. japonica Rehd.*)

山地殊ニ我邦北部ニ多キ落葉喬木ニシテ幹ハ直聳シテ多數分枝シ其大ナル者ハ高サ30m餘、徑1mニ達シ、樹皮ハ灰褐色ニシテ不規則ニ割レ、枝ニハ往々褐色ノ木栓質ク發達シテ突起ヲ成シ斯ノ如キヲコブにれ (*forma suberosa Nakai*) ト呼ブ。葉ハ互生シテ短柄ヲ有シ、廣倒卵形乃至倒卵狀橢圓形ニシテ先端急ニ銳尖頭ヲ成シ底部ハ楔形ニシテ左右不齊、葉緣ニ重鋸齒アリ、長サ3-12cm許、糙澁シテ少クモ裏面脈上ニハ毛アリ。春日、葉ニ先テ葉腋ニ帶黃綠色ノ細花ヲ簇着ス。萼ハ下部鐘狀ヲ成シテ先端四裂シ、裂片ハ半圓形ニシテ縁毛アリ。四雄蕊アリテ長ク萼上ニ超出シ、花絲ハ白色、葯ハ黃色ナリ。一子房アリテ花柱ハ二岐ス。翅果ハ扁平ニシテ膜質ノ廣翅ヲ有シ、廣倒卵形ニシテ先端凹ミ、黃綠色ヲ呈シ長サ1cm餘アリ。和名 春にれハ春ニ花サク故云フ、にれハ滑(ぬ)れノ意ニシテ其皮ヲ割バ粘滑ナレバ云フ、やにれハ脂滑即チやにぬれノ略ト謂ハル、皮ヲ割バ其汁液粘滑ニ云フ。漢名 榆 (誤用)、榆ハ本屬ノ別種ナリ。

第 1958 圖

に
れ
科



あきにれ (榔榆)

一名 いしげやき・かはらげやき
Ulmus parvifolia Jacq.
(= *U. Sieboldii Daveau.*)

山地或ハ平地ニ生ズル落葉喬木ニシテ幹ハ直立シテ分枝シ、大ナル者ハ高サ13m許、徑60cmニ達シ、新枝ニハ細毛ヲ布ク。葉ハ小形ヲ呈シテ互生シ、短柄ヲ有シ、倒卵形或ハ倒卵狀長橢圓形ヲ成シ先端銳頭又ハ鈍頭ヲ有シ底部ハ左右不齊ナル鈍形ヲ呈シ、邊緣ニ重鋸齒ヲ有シ、長サ1-5cm許、革質ニシテ硬ク、上面稍粗糙ニシテ光澤アリ、支脈多數斜メニ平行ス。秋ニ至テ本年枝上ノ葉腋ニ淡黃色ノ小花ヲ簇着ス。萼ハ四裂シテ筒部短ク、四雄蕊アリテ萼上ニ超出ス。一子房アリテ萼ノ上ニ超出シ、花柱ハ二岐ス。翅果ハ短柄ヲ有シ扁平ニシテ周圍ニ多クノ翅ヲ具ヘ橢圓形ヲ呈シテ長サ1cm許アリ、内ニ二種子ヲ容ル。和名ハ秋季ニ花實アルヲ以テ此ク名ク、石げやきハ樹容けやきニ似且其材質堅硬ナレバ云ヒ、川原けやきハ能ク川原ニ生ジアルヨリ云フ。

第 1959 圖

に
れ
科

